平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	1	民間保育所運営支援事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実

目的

家庭内保育に欠ける児童の保育を民間の認可保育所に委託し保育に係る費用を委託料、補助金として交付し、職員の処遇向上や施設の運営改善等保育環境の向上を図る。

主たる内容

認可民間保育所に運営を委託するほか、人件費、整備費などを補助する。
○人件費
○管理費
○整備費
○嘱託医報酬
○一時保育促進事業
○保育所用地等補助

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	民間保育施設	事業期間	～
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
保育に係る運営を委託し、市の補助金交付要綱に基づき、運営に際し必要となる事業への補助を行った。	保育に係る運営を委託し、市の補助金交付要綱に基づき、運営に際し必要となる事業への補助を行った。	保育に係る運営を委託し、市の補助金交付要綱に基づき、運営に際し必要となる事業への補助を行った。 また、第二こぐま保育園建設に伴う建設費補助を行った。	保育に係る運営を委託し、市の補助金交付要綱に基づき、運営に際し必要となる事業への補助を行う。 また、親愛の里保育園移転新築に伴う建設費補助を行う。

成果（できたこと）	民間保育所に委託や補助をすることで安定した運営を続けることができた。
課題（できなかったこと）	安心こども基金、保育対策等促進事業費補助金等の国県補助内容の動向に注意が必要である。また、民間保育所への株式会社の参入も見込まれており、補助対象、内容等については今後精査する必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	委託保育園数（園）	2	2	2	3	3
成果指標	待機児童数（人）	5	3	6	0	0

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		241,832	260,476	468,371	726,838
財源	特定財源	119,128	134,403	237,387	295,947
	一般財源	122,704	126,073	230,984	430,891
職員人件費　②		1,812	1,795	1,768	1,842
総事業費（①＋②）		243,644	262,271	470,139	728,680

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	保育所運営費負担金等
２６年度以降の事業費見込	0	

２４年度 事業費内訳

合計	468,370,675 円
委託料	215,033,780 円
負担金、補助及び交付金	253,336,895 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	1	認可外保育所運営支援事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	家庭内保育に欠ける3歳未満児の保育を認可外保育施設に委託し、保育環境の向上を図る	
主たる内容	一定の基準に適合する認可外保育施設と委託契約し、家庭内保育に欠ける児童の保育を委託する。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	認可外保育施設	
事業期間	平成９年度　～	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
委託契約　16施設 延べ委託児童数809人	委託契約　14施設 延べ委託児童数1,124人	委託契約　14施設 延べ委託児童数1,517人	委託契約　15施設 延べ委託児童数1,400人

成果（できたこと）	平成24年度当初は市内、市外あわせて14の認可外保育施設と委託契約を結び、1363人の児童を保育することが出来た。
課題（できなかったこと）	年度当初だけでなく、年度途中の入園相談時にも認可保育園に入園できず、認可外保育施設を紹介する事も多く、ニーズも多いため効果は大きい。ただし、委託料は利用者ではなく、認可外保育施設に対して月額1名あたり12,400円支払われるものなので、利用者への還元方法が課題である。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	認可外保育所委託契約実績数（施設）	16	14	14	15	15
成果指標	延べ委託児童数（人）	809	1,124	1,517	1,400	1,200

他市との比較検証：

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		10,153	15,983	18,963	17,835
財源	特定財源	80	98	101	117
	一般財源	10,073	15,885	18,862	17,718
職員人件費　②		1,450	1,077	1,061	1,105
総事業費（①＋②）		11,603	17,060	20,024	18,940

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	認可外保育施設衛生安全対策事業費補助金（県）
２６年度以降の事業費見込	0	

２４年度事業費内訳

合計	18,962,510 円
委託料	18,810,800 円
負担金、補助及び交付金	151,710 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	1	認可外保育所利用補助事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	子どもが健やかに育つ環境づくり
目的	認可外保育所利用者の保育料負担を軽減することにより子育て支援の充実を図る。	
主たる内容	認可保育所への申込を行い、入所できなかった3歳未満児の保護者へ、所得に応じた保育料の補助を行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	保護者	
事業期間	平成２４年度　～	
実施方法	□直営　□委託　□指定管理　■補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
――――	――――	補助人数　延べ515人	補助人数　延べ500人

成果（できたこと）	認可外保育所を利用する保護者の負担を軽減することが出来た。
課題（できなかったこと）	事業の対象者は、認可保育所に入園できない児童の保護者であるため、認可保育所等の整備を行い、補助事業対象者の減少を図る必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	延べ児童数（人）	―	―	515	500	300
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		0	0	13,011	14,781
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	0	0	13,011	14,781
職員人件費　②		0	0	1,061	1,105
総事業費（①＋②）		0	0	14,072	15,886
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	２４年度特定財源名称	
	２４年度迄の累積事業費		0		
	２６年度以降の事業費見込		0		

２４年度事業費内訳

合計　13,011,066 円

負担金、補助及び交付金　13,011,066 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	1	児童福祉施設整備事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実
目的	旧職業訓練センター跡地を保育園用地として整備し、待機児童の解消を図る。	
主たる内容	旧職業訓練センターを取り壊し、跡地に保育園を建設するための用地整備を行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	保育園児、保護者	
事業期間	～	
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
――――	――――	取壊し工事完了	――――

成果（できたこと）	近隣への騒音、振動に配慮しながら、安全に取壊し工事を遂行することができた。
課題（できなかったこと）	

指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①	0	0	32,515	0
財源　特定財源	0	0	0	0
財源　一般財源	0	0	32,515	0
職員人件費　②	0	0	354	0
総事業費（①＋②）	0	0	32,869	0

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

２４年度事業費内訳	
合計	32,515,350 円
委託料	490,350 円
工事請負費	32,025,000 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	保育士研修事業	次世代育成部	子ども課	保育園係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実

目的

研修計画に基づき、実践に活かしていける研修や保護者支援、子育て支援につながる研修を取り入れて実施することにより、保育内容の充実と質の向上を図る。

主たる内容

各種研修会を開催するとともに、県・外郭団体が行う研修会に参加する。
○各種研修会
・保育指導研修
・保育実技研修
・園長、主任研修
○研修旅費
・研究大会
・中堅保育士研修
・新任職員セミナー　等

位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画
	根拠法令	次世代育成対策推進法

対象者	保育園保育士	事業期間	～
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
・保育士職員研修 12回　335人 ・保育士・教諭合同研修 6回　180人 ・愛知県現任保育士研修 3回　6人	・保育士職員研修 13回　350人 ・保育士・教諭合同研修 6回　200人 ・愛知県現任保育士研修 3回　7人	・保育士職員研修 15回　360人 ・保育士・教諭合同研修 9回　200人 ・愛知県現任保育士研修 3回　8人	・保育士職員研修 14回　380人 ・保育士・教諭合同研修 8回　200人 ・愛知県現任保育士研修 3回　8人

成果（できたこと）

経験年数別研修、実技研修等を実施し、研修結果報告書を作成し、年度末に一度達成度を自己評価するとともに、研修結果を保育に活かしており、研修を受講した保育士の割合も目標値である70%を達成することができた。また、各園が順番に第三者評価を受審し、保育園の利用者アンケートを通じて、保護者からの直接的な意見を保育内容や保育士の資質向上に活かしている。

課題（できなかったこと）

研修結果報告書の達成度評価が自己評価のため、十分な成果が見られたか効果を検証することが出来なかった。今後は成果を数値化するなど、保育指針や子どもの発達に合わせて研修計画を見直し、研修の形態及び内容や講師の選択等を考えていきたい。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	目標値 ２５年度	目標値 ２７年度
活動指標	保育士研修を受講した保育士の割合（%）	73.5	76.8	78.9	70.0	70.0
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		1,641	1,609	1,674	1,568
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,641	1,609	1,674	1,568
職員人件費　②		1,450	1,436	1,061	1,105
総事業費（①＋②）		3,091	3,045	2,735	2,673

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

２４年度 事業費内訳

合計	1,673,660 円
報償費	723,300 円
旅費	544,960 円
委託料	282,000 円
負担金、補助及び交付金	123,400 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	給食運営事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	発達段階に応じた給食を提供し、栄養補給と心身の健全育成を目指し、円滑な保育園の給食運営を行う。	
主たる内容	臨時調理員の賃金、給食担当者研修会消耗品、保育園の賄材料費等を支払い、給食運営を行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	保育園児または給食担当職員	
事業期間	～	
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
給食担当者会の実施 給食担当者研修会の実施 給食用食器の更新 （さくら、日高保育園）	給食担当者会の実施 給食担当者研修会の実施 給食用食器の更新 （慈友、双葉保育園）	給食担当者会の実施 給食担当者研修会の実施 給食用食器の更新 （富士松南、富士松北保育園）	給食担当者会の実施 給食担当者研修会の実施

成果（できたこと）	給食担当者研修会にて調理室内での衛生面等について講義を受けたことにより、調理員への意識向上したこと、また新メニューへの取り入れを行った。給食担当者会では、昨年度からの反省や現在の状況に合わせて給食の提供ができるように努めた。
課題（できなかったこと）	アレルギー児の増加や、乳児枠拡大に伴う0歳児の入所増加により、今後もアレルギー食、離乳食等の個々に応じた給食の正確な提供が必要となると思われる。また、別メニューの調理に伴う賄い材料費の増加や、野菜等の食材の不足、費用の高騰など天候等に左右されない安定した仕入れの確保が必要となる。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	給食用食器の更新率（%）	50	75	100	100	—
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		113,751	121,727	116,317	115,162
財源	特定財源	10,678	10,744	17,408	14,641
	一般財源	103,073	110,983	98,909	100,521
職員人件費　②		1,812	1,795	1,768	1,842
総事業費（①＋②）		115,563	123,522	118,085	117,004

２４年度事業費内訳	
合計	116,316,839 円
賃金	5,738,093 円
需用費	110,578,746 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	給食費徴収金他
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	給食調理業務委託事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	保育・幼児教育の充実

目的	主たる内容
給食調理業務は、少人数職種で勤務体制を編成しにくい状況のため、給食調理業務を委託し経費等の効率化を図る。	富士松南、富士松北、双葉、さくら、日高東刈谷、かりがねの7保育園の給食業務を委託する。

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	事業者	事業期間	平成１１年度　～
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
給食調理業務委託（富士松南、富士松北、双葉日高、東刈谷、かりがね保育園）	給食調理業務委託（富士松南、富士松北、双葉日高、東刈谷、かりがね保育園）	給食調理業務委託（富士松南、富士松北、双葉日高、東刈谷、かりがね保育園）	給食調理業務委託（富士松南、富士松北、双葉さくら、日高、東刈谷、かりがね保育園）

成果（できたこと）	直営の場合は、急な体調不良や忌引き等による調理員の欠員などに臨機応変な対応が必要となるが、委託の場合は確実な人員配置ができている。
課題（できなかったこと）	アレルギー食や離乳食など細かい対応への依頼が増加していることから、今後もさらなる連携が必要となる。また、受託者側の賃金の増加に伴う委託料の増加が見込まれる。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	目標値 ２５年度	目標値 ２７年度
活動指標	給食業務の委託割合（%）	75	75	75	87	87
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		45,000	44,588	44,550	52,868
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	45,000	44,588	44,550	52,868
職員人件費　②		2,175	2,154	2,122	1,842
総事業費（①＋②）		47,175	46,742	46,672	54,710

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

２４年度事業費内訳	
合計	44,550,072 円
委託料	44,550,072 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	保育園管理事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	公設公営保育園の円滑な維持管理を行うため、施設設備の保全に努め、保育園児の快適な生活環境を維持する。	
主たる内容	光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等、円滑に保育園を維持管理する。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	保育園児	
事業期間	～	
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に保育園を維持管理した。	光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に保育園を維持管理した。	光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に保育園を維持管理した。	光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に保育園を維持管理する。

成果（できたこと）	円滑に保育園を管理することができた。
課題（できなかったこと）	今後も園児の快適な生活環境を維持するよう努めていく必要がある。また、燃料費の高騰、夏季の高温化に伴う光熱水費、樹木の高木化による剪定委託料、施設・設備の老朽化による修繕料等の増加が予想され、保育園を管理するための予算の増額が必要である。

指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
指標					
指標					

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円	２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①	49,782	51,251	52,789	55,058
財源　特定財源	12	8	7	6
財源　一般財源	49,770	51,243	52,782	55,052
職員人件費　②	3,624	3,589	4,244	1,695
総事業費（①＋②）	53,406	54,840	57,033	56,753

２４年度事業費内訳	
合計	52,789,488 円
需用費	32,180,335 円
役務費	1,362,348 円
委託料	8,252,770 円
使用料及び賃借料	10,994,035 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	行政財産目的外使用料
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	公立保育所管理運営委託事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	おがきえ保育園とあおば保育園の管理運営を指定管理者に委託し、さまざまな保育ニーズに対応し保育環境の向上を図る。	
主たる内容	通常保育及び、延長保育、休日保育、一時保育の業務を委託する。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	公設民営保育所	
事業期間	平成１７年度　～	
実施方法	□直営　□委託　■指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
おがきえ保育園 あおば保育園	おがきえ保育園 あおば保育園	おがきえ保育園 あおば保育園	おがきえ保育園 あおば保育園

成果（できたこと）	延長保育、休日保育、一時保育など多くの保育サービスが実施できた。
課題（できなかったこと）	市内認可保育園の中でも、おがきえ保育園、あおば保育園を希望する声は多くあることから、さらに指定管理による保育園運営の増加検討が必要である。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	目標値 ２５年度	目標値 ２７年度
成果指標	保護者満足度（%）	82.8	82.6	85.1	86	87
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		292,463	298,430	315,207	339,704
財源	特定財源	72,604	86,650	96,203	97,146
	一般財源	219,859	211,780	219,004	242,558
職員人件費　②		1,812	1,795	1,768	1,842
総事業費（①＋②）		294,275	300,225	316,975	341,546

２４年度事業費内訳	
合計	315,206,954 円
需用費	55,944 円
委託料	315,151,010 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	公立保育所保護者負担金等
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	園庭除草事業	担当部	次世代育成部
一般会計	3	2	3		担当課	子ども課
					担当係	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実

目的	保育園の除草作業や側溝清掃作業等により園児や保護者、近隣の住民にとって快適な保育環境を維持する。	主たる内容	シルバー人材センターに委託し、保育園敷地内の除草作業や側溝清掃作業等を行う。

位置づけ	関連計画	
	根拠法令	

対象者	保育園児、保護者	事業期間	平成２１年度　～
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
臨時職員2名雇用 7月～8月（40日） 臨時職員2名雇用 11月（20日）	臨時職員2名雇用 7月～9月（35日）	シルバー人材センターへ委託 7月～9月（40日）	（保育園管理事業へ付替え） ――――――

成果（できたこと）	シルバー人材センターへ委託をし、除草等作業を行うことで保育環境の向上を図ることができた。
課題（できなかったこと）	酷暑による作業員の健康への配慮等、作業に携われる日数が限られているので、計画的な委託方法、作業日数の増加を図る必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	目標値 ２５年度	目標値 ２７年度
活動指標	臨時職員雇用延日数又はシルバー人材センター雇用延日数（日）	120	70	80	―	―
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		517	485	253	0
財源	特定財源	517	449	0	0
	一般財源	0	36	253	0
職員人件費　②		725	718	707	0
総事業費（①＋②）		1,242	1,203	960	0

２４年度事業費内訳	
合計	253,485 円
委託料	253,485 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	給食衛生管理対策事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的		保育園の給食調理業務及び給食配膳業務が衛生的に行われるよう環境を改善し、園児に対し、安全で衛生的な給食を提供するために必要となる厨房機器の整備や配膳用物品等を整備する。
主たる内容		保育園調理室で使用する消毒液や手袋、マスク等の消耗品や厨房機器の老朽化により機能が低下して支障をきたしている備品等を更新する。
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者		保育園児
事業期間		～
実施方法		■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
保存食用冷凍庫の更新 （富士松南保育園始め5園） 炊飯器の更新 （双葉保育園） 残留塩素計の更新 （富士松南保育園始め8園）	保存食用冷凍庫の更新 （双葉保育園） 食器消毒保管庫の更新 （慈友保育園） 折りたたみ配膳車 （かりがね保育園）	回転釜の更新 （富士松北、かりがね保育園） 食器消毒保管庫の更新 （富士松南、日高保育園） 皮むき機 （富士松南、日高保育園）	回転釜の更新 （富士松北保育園） 食器洗浄機 （かりがね保育園） スチームコンベクションオーブン （かりがね保育園） 食器消毒保管庫 （かりがね保育園）

成果（できたこと）	計画に基づき、消耗品の購入や厨房機器の更新を行った。
課題（できなかったこと）	日々の衛生対策の徹底によって食中毒等の発生を未然に防ぐことに努めているが、食数の増加による調理スペースの確保や、アレルギー食、離乳食に対応する必要備品の増加が見込まれる。また、老朽化に伴う厨房機器の更新や時代に合った調理機器の購入も随時必要である。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	保存食用冷凍庫の更新率（%）	62.5	75	75	75	100
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		4,302	4,595	4,792	8,100
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,302	4,595	4,792	8,100
職員人件費　②		1,450	1,436	1,415	1,474
総事業費（①＋②）		5,752	6,031	6,207	9,574

２４年度事業費内訳	
合計	4,791,536 円
需用費	2,698,886 円
備品購入費	2,092,650 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	園舎改修事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実

目的	主たる内容
保育園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。	保育園の園舎は、昭和40年代後半から順次建築されてきており、この事業は比較的大規模に園舎等を改修をする事業である。 老朽化により不便になった園舎や施設等を改修したり、延命化のための予防的な保全を行う。

位置づけ	
関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画
根拠法令	

対象者	保育園児、保護者	事業期間	～
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
・さくら保育園屋上防水改修工事 ・富士松北保育園屋上防水改修工事 ・東刈谷保育園下水道接続工事	・かりがね保育園外壁改修工事 ・かりがね保育園園舎改修工事 ・かりがね保育園ガラス目地シーリング打替え工事 ・かりがね保育園厨房配膳棚設置等工事 ・かりがね保育園畳設置工事	・慈友保育園屋根防水補修工事 ・さくら保育園外壁塗装補修工事 ・日高保育園1歳りす組手洗い設置工事 ・東刈谷保育園パーテーション設置工事	・慈友保育園外壁塗装改修工事 ・日高保育園外壁塗装改修工事 ・双葉保育園屋根防水工事 ・双葉保育園調理室排水改修工事

成果（できたこと）	老朽化による園舎及び施設等を改修したり、予防的に施設を保全したことに伴い、良好な保育環境の改善を図ることができた。
課題（できなかったこと）	園舎及び施設等の大規模な改修を予算計上しているが、施設等の老朽化により、改修箇所は増加してきている。今後は、単年度に経費が集中しないよう、公共施設維持保全計画に基づき、改修計画を策定する必要がある。

指標名称（単位）		実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	屋上防水工事実績数（園）	2	0	1	1	2
活動指標	外壁改修工事実績数（園）	0	1	1	2	2

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		24,471	36,779	15,535	33,000
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	24,471	36,779	15,535	33,000
職員人件費　②		725	718	707	368
総事業費（①＋②）		25,196	37,497	16,242	33,368

２４年度事業費内訳	
合計	15,534,750 円
工事請負費	15,534,750 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	園舎補修事業	担当部	次世代育成部
一般会計	3	2	3		担当課	子ども課
					担当係	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実
目的	保育園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図るため、園舎及び施設を補修する。	
主たる内容	老朽化により不便になった園舎や施設等を補修したり延命化のための予防的な修繕を行う。	
位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成行動支援計画
	根拠法令	
対象者	保育園児、保護者	
事業期間	～	
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
・畳取替修繕 ・富士松北保育園各所塗装修繕 ・消防設備取替修繕	・畳取替修繕 ・富士松南保育園便所、厨房床修繕 ・慈友保育園保育室床塗装補修 ・富士松南保育園3歳児保育室床塗装補修 ・消防設備取替修繕	・畳取替修繕 ・富士松南保育園2階壁補修 ・富士松北保育園乳児室ロッカー撤去修繕 ・さくら保育園壁クロス張替修繕 ・東刈谷保育園床面研磨塗装修繕 ・消防設備取替修繕	・畳取替修繕 ・富士松北保育園調理室建具修繕 ・日高保育園保育室床研磨塗装修繕 ・東刈谷保育園調理室床塗装修繕 ・双葉保育園便所タイル補修 ・消防設備取替修繕

成果（できたこと）	老朽化による園舎及び施設等を補修したり、予防的に施設を保全したことに伴い、良好な保育環境の改善を図ることができた。
課題（できなかったこと）	園舎改修事業ほど大規模ではない園舎や施設等の修繕の予算計上をしているが施設等の老朽化により、修繕箇所は増加してきている。単年度に経費が集中しないよう、順次修繕計画を策定する必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	補修箇所数（箇所）	18	5	18	15	15
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		4,681	2,005	4,574	3,300
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,681	2,005	4,574	3,300
職員人件費　②		725	718	707	368
総事業費（①＋②）		5,406	2,723	5,281	3,668

２４年度事業費内訳	
合計	4,574,072 円
需用費	4,574,072 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	屋外環境整備事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実

目的	主たる内容
保育園の遊具等の安全性向上や施設の延命化を図る。	老朽化により不便になった屋外施設、遊具等を改修したり、延命化のための予防的な保全を行う。

位置づけ	
関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画
根拠法令	

対象者	保育園児、保護者	事業期間	～
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
・遊具修繕 ・防草シート敷設工事	・遊具修繕 ・日高保育園通路整備工事 ・日高保育園花壇設置工事 ・かりがね保育園送迎用駐車場改修工事	・遊具修繕 ・かりがね保育園アコーディオン門扉取替工事 ・かりがね保育園園庭整備工事	・遊具修繕 ・慈友保育園大型遊具取替工事 ・さくら保育園大型遊具取替工事 ・東刈谷保育園正門等改修工事

成果（できたこと）	門扉の改修工事、遊具点検等により指摘を受けた危険箇所を迅速に修繕することにより、安全性の向上に努めることができた。 また、屋外施設も順次改修したり、予防的に施設を保全したことに伴い、良好な保育環境の改善を図ることができた。
課題（できなかったこと）	遊具の老朽化が多く見られ、特に木製大型総合遊具は点検による指摘が多く、予算を圧迫している。今後、単年度に経費が集中しないよう、順次更新や修繕計画を立て、より安心・安全な施設管理を実施する必要がある。

指標名称（単位）		実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	遊具更新数（基）	5	0	0	2	2
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①	15,295	3,339	1,922	9,470
財源　特定財源	0	0	0	0
財源　一般財源	15,295	3,339	1,922	9,470
職員人件費　②	725	718	707	368
総事業費（①＋②）	16,020	4,057	2,629	9,838

２４年度事業費内訳	
合計	1,921,914 円
需用費	829,914 円
工事請負費	1,092,000 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	備品等整備事業	担当部	次世代育成部
一般会計	3	2	3		担当課	子ども課
					担当係	施設係

PLAN＜計画＞

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実

目的	公設公営保育園8園の消耗品や備品の充実を図り、保育環境の改善を図る。	主たる内容	保育園の幼児用机や椅子等、消耗品や備品の状況を確認しながら順次更新する。

位置づけ	関連計画	
	根拠法令	

対象者	保育園児	事業期間	～
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO＜実施＞

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
乳児用机の更新 （富士松北保育園） 幼児用机の更新 ダブルカーの購入 （双葉保育園始め3園） ワンタッチテントの購入 （東刈谷保育園）	ＡＥＤ用パッドの更新 ＡＥＤ用バッテリーの更新 （富士松南保育園始め10園） 乳幼児用椅子の更新 （富士松南保育園始め8園） 園児用机の購入 ユニット砂場 収納ロッカー じゅうたん （かりがね保育園）	幼児用椅子の更新 臨時職員用ヘルメット ラジオライト 昼寝用じゅうたん （富士松南保育園始め8園） 掃除機、洗濯機の更新	幼児用椅子、机の更新 ＡＥＤパッドの更新 防炎用カーテン

成果（できたこと）	保育ニーズにあった備品や、老朽化した備品を順次更新した。
課題（できなかったこと）	保育ニーズにあった備品や、老朽化した備品の更新などの備品整備が必要である。また、予算が集中しないよう、計画的に更新していく必要がある。

指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		4,219	7,200	3,997	5,063
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,219	7,200	3,997	5,063
職員人件費　②		725	718	707	1,105
総事業費（①＋②）		4,944	7,918	4,704	6,168

２４年度事業費内訳	
合計	3,997,410 円
需用費	1,499,515 円
備品購入費	2,497,895 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	設備等改修事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実

目的	主たる内容
保育園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。	老朽化により不便になった設備を改修したり、延命化のための保全を行う。

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	保育園児、保護者	事業期間	～
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
――――――	・さくら保育園保育室空調機取替工事 ・東刈谷保育園便所洋式化工事 ・東刈谷保育園便所ガス湯沸器等取替工事 ・さくら保育園他幼児用便器取替工事 ・監視カメラ更新工事	・慈友保育園ロッカー設置工事 ・慈友保育園厨房控室エアコン取替工事 ・双葉保育園職員室コンセント増設工事 ・かりがね保育園空調機取替工事 ・かりがね保育園便所汚物棚設置工事	・双葉保育園照明器具取替工事 ・日高保育園屋外空調機更新工事 ・双葉保育園空調室内機更新工事 ・あおば保育園他1園緊急地震情報接続工事

成果（できたこと）	老朽化による設備の改修及び予防的に施設を保全したことにより、良好な保育環境の改善を図ることが出来た。
課題（できなかったこと）	ガス管、給水管、冷暖房設備などの老朽化により、改修箇所は増加している。今後は、単年度に経費が集中しないよう、公共施設維持保全計画に基づき、改修計画を策定する必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	改修箇所数（箇所）	―	6	6	6	7
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		0	6,468	6,388	28,380
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	0	6,468	6,388	28,380
職員人件費　②		0	718	707	368
総事業費（①＋②）		0	7,186	7,095	28,748

２４年度事業費内訳	
合計	6,387,790 円
工事請負費	6,387,790 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	設備等補修事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実
目的	保育園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図るため、保育園設備を補修する。	
主たる内容	老朽化により不便になった設備を補修したり、延命化のための保全を行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	保育園児、保護者	
事業期間	～	
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
――――――	――――――	・富士松北保育園他1園ガスメーター取替修繕 ・消防設備取替修繕 ・富士松南保育園ダムウエーターメインロープ取替修繕 ・双葉保育園電気修繕	・さくら保育園空調機修繕 ・東刈谷保育園遊戯室空調機修繕 ・日高保育園空調機修繕 ・消防設備取替修繕

成果（できたこと）	消防設備やガス設備等の設備を修繕することにより、保育環境の安全性の向上を図ることができた。
課題（できなかったこと）	設備の老朽化により修繕箇所は増加している。消火器、ガス調整器など対応年数があるものは期間を考慮して更新していく必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	補修箇所数（箇所）	―	―	10	15	15
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		0	0	1,237	952
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	0	0	1,237	952
職員人件費　②		0	0	707	368
総事業費（①＋②）		0	0	1,944	1,320

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

２４年度事業費内訳	
合計	1,237,020 円
需用費	1,200,270 円
役務費	36,750 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	図書充実事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	保育園児を対象とする図書類を充実させ、図書を活用した保育及び保護者への貸出しを通じて園児がより多くの図書と触れ合うことで図書への興味や情操が高まるようにする。	
主たる内容	保育園で、老朽化した絵本の更新、新刊絵本を購入する。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	保育園児	
事業期間	～	
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
保育図書（絵本類）の購入	保育図書（絵本類）の購入	保育図書（絵本類）の購入	保育図書（絵本類）の購入

成果（できたこと）	図書類の購入により、時代に沿った情報を得たり、園児が多くの図書と触れ合うことができた。また、現在保育園にある本も補修することによって物を大切に取り扱うことや、本の貸出しによってみんなで共有していること、期日等のルールを守ることを学ぶことができた。
課題（できなかったこと）	日々園児が図書で触れ合うため、劣化が必然となるが、今後も補修できるものは行ったり、新刊絵本の購入を行うことによって、園児の情操が高まるようにしていく必要がある。

指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
指標					
指標					

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円	２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①	800	593	755	640
財源　特定財源	0	0	120	0
財源　一般財源	800	593	635	640
職員人件費　②	362	359	354	368
総事業費（①＋②）	1,162	952	1,109	1,008

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	保育園事業費寄付金
２６年度以降の事業費見込	0	

２４年度事業費内訳	
合計	754,765 円
需用費	754,765 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	園児観劇事業	担当部	次世代育成部
一般会計	3	2	3		担当課	子ども課
					担当係	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	園児に観劇等を鑑賞させることにより、豊かな感性を培うとともに心豊かな子どもを育てる。	
主たる内容	保育園児を対象にした人形劇を各保育園で上演する。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	保育園児	
事業期間	～	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
人形劇上演（富士松南保育園始め8園）	人形劇上演（富士松南保育園始め8園）	人形劇上演（富士松南保育園始め8園）	人形劇上演（富士松南保育園始め8園）

成果（できたこと）	毎年新しい上演作品を選択し、各保育園で上演を行った。
課題（できなかったこと）	情操教育の効果が大きいが、新たな魅力をもった内容を検討する必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	人形劇の上演園数（回）	8	8	8	8	8
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費 ①		613	651	664	677
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	613	651	664	677
職員人件費 ②		362	359	354	368
総事業費（①＋②）		975	1,010	1,018	1,045

２４年度事業費内訳	
合計	663,600 円
委託料	663,600 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	保育園スポーツ教室開催事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	専門家の訪問指導により、ルールを守る大切さと、体を動かす楽しさを体験する。	
主たる内容	サッカー教室 ・5歳児対象 ・1時間程度 ・ボールを使った遊び、ゲーム等	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	保育園児	
事業期間	平成１９年度　～	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
サッカー教室開催 （富士松南保育園始め10園）	サッカー教室開催 （富士松南保育園始め10園）	サッカー教室開催 （富士松南保育園始め10園）	サッカー教室開催 （富士松南保育園始め10園）

成果（できたこと）	園児が楽しめるメニューにより、体を動かす楽しさを体験することができた。
課題（できなかったこと）	事業の効果をさらに大きくするため、対象の拡大や回数増を検討する。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	サッカー教室の開催数（回）	10	10	10	10	20
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		500	500	500	500
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	500	500	500	500
職員人件費　②		725	718	707	737
総事業費（①＋②）		1,225	1,218	1,207	1,237

２４年度事業費内訳	
合計	500,000 円
委託料	500,000 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	保育所広域入所事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実

目的	出産による里帰りで他市町村の保育所に入園を希望される児童のため、市外での広域入所を実施し、保育を必要とする児童の福祉の増進を図る。	主たる内容	里帰り出産により、希望する他市町村の保育園に入所を依頼し、広域入所委託契約を実施する。

位置づけ	関連計画	
	根拠法令	

対象者	保育園児、保護者	事業期間	～
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
相談件数　6件 （委託　6件／受託　0件）	相談件数　16件 （委託 11件／受託　2件）	相談件数　11件 （委託　9件/受託　1件）	相談件数　11件

成果（できたこと）	平成24年度は全部で11件の広域入所相談があり、そのうち1件が受託であった。受託は1件受け入れできたが、委託は、取り下げが1件あったので、9件の案内となった。
課題（できなかったこと）	委託については概ね案内はできているが、受託に関しては他市町村から相談があっても、園によっては定員一杯の可能性もあり、受入が難しい状況にある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	広域入所委託人数（人）	6	11	9	10	10
活動指標	広域入所受託人数（人）	0	2	1	1	1

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		1,234	1,614	2,366	2,312
財源	特定財源	536	603	849	657
	一般財源	698	1,011	1,517	1,655
職員人件費　②		1,450	1,436	1,415	1,474
総事業費（①＋②）		2,684	3,050	3,781	3,786

２４年度事業費内訳	
合計	2,366,240 円
委託料	2,366,240 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	広域入所保護者負担金
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	保育カウンセラー事業	次世代育成部	子ども課	保育園係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的		臨床心理士が、保育カウンセラーとして保護者等の子育てに関する相談について、専門的な立場から指導を行い、育児不安を解消したり、保育士の保育指導に生かし育児支援を行う。
主たる内容		保育カウンセラーが市内全保育園を年5回巡回し、発達障害や子どもの育児に悩む保護者や保育士等の相談に対応する。
位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画
	根拠法令	次世代育成対策推進法
対象者		保護者、保育園保育士
事業期間		平成１９年度　～
実施方法		■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
・訪問回数　43回 ・相談件数　181件	・訪問回数　50回 ・相談件数　185件	・訪問回数　49回 ・相談件数　191件	・訪問回数　60回 ・相談件数　200件

成果（できたこと）	年々、気になる子や障害児は増えており、カウンセリングを受けることで、保育指導の充実は図れており、実施回数も増やすことができた。 継続観察が必要な子に時間をかけて指導がもらえ、また、保護者からの相談も以前に比べ増加し、相談希望がある。
課題（できなかったこと）	臨床心理士から専門的立場で子どもを見てもらえるため、保育指導への効果が大きく、保護者への相談に柔軟に対応しているが、相談希望者が増加し、継続的観察回数を増やす必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	年間訪問回数（回）	43	50	49	60	78
成果指標	相談件数（件）	181	185	191	200	240

他市との比較検証	近隣市においても、臨床心理士等に指導を仰ぎ実施しているが、回数や時間数はばらつきがある。今後もより一層の充実を図る必要がある。

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		1,298	1,430	1,287	1,650
財源	特定財源	0	0	270	0
	一般財源	1,298	1,430	1,017	1,650
職員人件費　②		1,450	1,436	1,415	1,474
総事業費（①＋②）		2,748	2,866	2,702	3,124

２４年度事業費内訳	
合計	1,287,000 円
報償費	1,287,000 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	次世代育成支援対策交付金等
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	外国人園児等支援事業	次世代育成部	子ども課	保育園係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実

目的	日本語の理解できない外国人園児や保護者に対し通訳を巡回させ、保育園での相談等に応じ、安定した保育園生活が送れる環境を整える。	主たる内容	通訳者を拠点保育園に配置し、各保育園を巡回しながら、日本語が理解出来ない園児や保護者と保育士との間を通訳する。

位置づけ	関連計画	
	根拠法令	

対象者	保育園児　保護者	事業期間	～
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
訪問回数　月20回 午前3時間あるいは午後4時間 年間　546回	訪問回数　月20回 午前3時間あるいは午後4時間 年間　730回	訪問回数　月20回 午前3時間あるいは午後4時間 年間　730回	訪問回数　月20回 午前3時間あるいは午後4時間 年間　730回

成果（できたこと）	日本語が通じない園児と母国語で会話したり、保護者に園での子どもの様子を伝えたりすることで、安定した園生活が送れるようになった。また、手紙や子どもの記録を翻訳して保護者に渡すことで園生活の理解につながった。
課題（できなかったこと）	会話の理解、手紙の翻訳等を通して安定した園生活が送れるため、効果が大きいが、今後は多国籍語の通訳者が必要となる。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	目標値 ２５年度	目標値 ２７年度
活動指標	訪問回数（回）	546	730	730	730	730
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		753	747	885	994
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	753	747	885	994
職員人件費　②		725	718	707	737
総事業費（①＋②）		1,478	1,465	1,592	1,731

２４年度事業費内訳	
合計	885,270 円
報償費	885,270 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	3	2	3	一時保育事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	保育・幼児教育の充実

目的	主たる内容
保護者が出産、疾病や事故等の緊急で一時的に保育できない場合に、児童を預かり子育て家庭を支援する。	最大月14日を限度に一時的な保育サービスを行う。 対象 生後6か月以上小学校入学前 費用 3歳未満児　日額2,000円 3歳以上児　日額1,000円

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	市民	事業期間	～
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
申請理由別利用者数 緊急　431人 非定型　1,160人 私的　2,145人	申請理由別利用者数 緊急　439人 非定型　1,458人 私的　2,026人	申請理由別利用者数 緊急　837人 非定型　973人 私的　2,349人	申請理由別利用者数 緊急　850人 非定型　1,500人 私的　2,500人

成果（できたこと）	申請理由を明確にすることで、利用者ニーズに対応することができた。
課題（できなかったこと）	定員超過で受入ができない場合の受入れ態勢の見直しが課題である。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	定員（人／日）	20	20	22	22	24
成果指標	利用者数（人）	3,736	3,923	4,159	4,850	5,200

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		28	0	0	528
財源	特定財源	28	0	0	124
	一般財源	0	0	0	404
職員人件費　②		1,087	1,077	1,061	1,105
総事業費（①＋②）		1,115	1,077	1,061	1,633
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		
	２４年度迄の累積事業費		0		
	２６年度以降の事業費見込		0		

２４年度事業費内訳	
合計	0 円

２４年度特定財源名称

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	私立幼稚園保育料補助事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	公私立幼稚園間における保護者負担授業料の格差是正を図る。	
主たる内容	私立幼稚園就園奨励費補助の対象とならない保護者に保育料の一部を補助する。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	私立幼稚園児の保護者	
事業期間	～	
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　■補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
私立幼稚園就園奨励費補助の対象とならなかった保護者に保育料の一部を補助した。 年26,400円/園児一人あたり	私立幼稚園就園奨励費補助の対象とならなかった保護者に保育料の一部を補助した。 年26,400円/園児一人あたり	私立幼稚園就園奨励費補助の対象とならなかった保護者に保育料の一部を補助した。 年26,400円/園児一人あたり	私立幼稚園就園奨励費補助の対象とならなかった保護者に保育料の一部を補助する。 年26,400円/園児一人あたり

成果（できたこと）	私立幼稚園就園奨励費補助の対象とならなかった保護者に補助し、公立幼稚園との保育料の格差是正を図ることができた。
課題（できなかったこと）	対象者を的確に把握し執行しているが、海外勤務対象者の増加に伴い、システム以外での正確な処理が必要となっている。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	補助人数（人）	200	228	272	300	320
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		5,108	5,768	6,890	6,759
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,108	5,768	6,890	6,759
職員人件費　②		1,087	1,077	1,061	1,105
総事業費（①＋②）		6,195	6,845	7,951	7,864
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	２４年度特定財源名称	
	２４年度迄の累積事業費		0		
	２６年度以降の事業費見込		0		

２４年度事業費内訳

合計　6,890,400 円

負担金、補助及び交付金　6,890,400 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	幼稚園給食実施事業	次世代育成部	子ども課	幼稚園係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	消耗品の購入、設備保守管理委託等を行い安全な幼稚園給食提供を行う。	
主たる内容	幼稚園給食実施に伴う、臨時配膳パートの雇用、給食用消耗品の購入、細菌検査及びダムウェターの保守管理等を行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	幼稚園	
事業期間	平成１１年度　～	
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
ダムウェーターの定期検査の実施 安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 職員の細菌検査 （月1回実施）	ダムウェーターの定期検査の実施 安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 職員の細菌検査 （月1回実施） 牛乳アレルギーへの対応	ダムウェーターの定期検査の実施 安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 職員の細菌検査 （月1回実施） 牛乳アレルギーへの対応	ダムウェーターの定期検査の実施 安全衛生に留意したマニュアルのもとに実施 職員の細菌検査 （月1回実施） 牛乳アレルギーへの対応

成果（できたこと）	給食事業に必要な消耗品の購入や衛生に留意した設備の管理等をし、安全な給食が提供できている。 マニュアルの見直しを毎年行い、常に、安全安心な給食が提供できている。
課題（できなかったこと）	様々なアレルギーのある幼児がいるため、安全への留意や対応に心がけ、保護者との連携を充分に図っていく必要がある。

指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①	15,662	15,548	15,789	16,544
財源　特定財源	0	0	0	0
財源　一般財源	15,662	15,548	15,789	16,544
職員人件費　②	362	359	354	737
総事業費（①＋②）	16,024	15,907	16,143	17,281

２４年度事業費内訳	
合計	15,789,200 円
賃金	10,654,125 円
需用費	1,492,247 円
役務費	2,469,348 円
委託料	1,173,480 円

建設事業		２４年度特定財源名称
全体事業費（単位：千円）	0	
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	幼稚園教育調査研究事業	次世代育成部	子ども課	幼稚園係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	保育・幼児教育の充実

目的	主たる内容
幼児教育の推進のため、研究主題の深化・拡充を図り、保育研究の充実と指導資料の整備に努める。	現職教育計画や幼稚園研究紀要を作成したり、保育研究を充実させ、指導資料の整備をする。

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	幼稚園教諭	事業期間	～
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
研究予備指定園 小垣江東幼稚園、双葉幼稚園 研究指定園 住吉幼稚園、富士松南幼稚園	研究予備指定園 井ヶ谷幼稚園、かりがね幼稚園 研究指定園 小垣江東幼稚園、双葉幼稚園	研究予備指定園 平成幼稚園、刈谷幼稚園 研究指定園 井ヶ谷幼稚園、かりがね幼稚園	研究予備指定園 日高幼稚園、東刈谷刈谷幼稚園 研究指定園 平成幼稚園、刈谷幼稚園

成果（できたこと）	研究発表会を年2回実施し、保育を見て学ぶ機会となった。また、公開保育や協議会を通して、環境や教師の援助について考えを深めることができ、教育の資質向上へと結びつくことができた。 幼稚園教育における課題を研究し、各幼稚園に研究成果を発表することにより、刈谷市の幼児教育の推進につながっている。
課題（できなかったこと）	幼児期からの教育の重要性が言われている中、質の高い保育の充実に向けて、さらに研究を積み重ね、幼児の成長につなげていく必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	研究発表開催園数（園）	2	2	2	2	—
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		530	530	530	530
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	530	530	530	530
職員人件費　②		362	359	354	737
総事業費（①＋②）		892	889	884	1,267

２４年度事業費内訳	
合計	530,000 円
委託料	530,000 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	幼稚園教職員研修事業	次世代育成部	子ども課	幼稚園係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	保育・幼児教育の充実

目的	主たる内容
研修計画に基づき、研修会の開催及び各種の幼児教育研修会に参加することで、保育内容の充実と教諭の資質向上を図る。	各種研修会を開催するとともに、県・外郭団体が行う研修会に参加する。 ○各種研修会 ・保育指導研修 ・保育技術向上研修 ・園長、主任研修 ○研修旅費 ・先進幼稚園訪問 ・研究大会 ・10年経験者研修会 ・新採用教員研修会　等

位置づけ	
関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画
根拠法令	次世代育成対策推進法

対象者	幼稚園教諭	事業期間	～
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
・県研修　26日　160人 ・市研修　33日　743人 ・先進地研修　6県　13人	・県研修　27日　180人 ・市研修　33日　750人 ・先進地研修　7県　68人	・県研修　28日　253人 ・市研修　33日　738人 ・先進地研修　6県　7人	・県研修　30日　239人 ・市研修　30日　750人 ・先進地研修　6県　6人

成果（できたこと）	研修内容の変更や、職員の負担軽減を重視したことにより、研修を受講した教員は減少したが、目標値である70%は達成することができた。また、研修内容や企画を充分精査し、学びの充実がもてるよう、努めることができた。
課題（できなかったこと）	参加者の経験に応じて研修テーマを設定したが、各幼稚園において、学びを伝え、広めていけなかった面もある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	目標値 ２５年度	目標値 ２７年度
活動指標	教職員研修を受講した教員の割合（%）	80.4	83.0	73.6	70.0	70.0
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		798	902	854	986
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	798	902	854	986
職員人件費　②		1,450	1,436	707	737
総事業費（①＋②）		2,248	2,338	1,561	1,723

２４年度事業費内訳	
合計	854,234 円
報償費	230,000 円
旅費	595,234 円
負担金、補助及び交付金	29,000 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	園児健康診断事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	健康づくり
施策の内容	健康の増進

目的	主たる内容
健康診断の環境を整えることにより、園児の健康維持、向上を図る。	健康診断器具器の購入、滅菌を委託する。

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	幼稚園	事業期間	平成２４年度　～
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
――――	――――	健康診断器具の購入 健康診断器具滅菌委託	健康診断器具の購入 健康診断器具滅菌委託

成果（できたこと）	健康診断器具の購入及び滅菌委託により、園児の健康診断の環境を整えることができた。
課題（できなかったこと）	各園の園児数の変化に対応するため、器具の保有数の管理が必要である。

指標名称（単位）		実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	内科検診回数（回）	16	16	16	16	16
活動指標	歯科検診回数（回）	32	32	32	32	32

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		0	0	699	696
財源	特定財源	0	0	0	0
財源	一般財源	0	0	699	696
職員人件費　②		0	0	354	368
総事業費（①＋②）		0	0	1,053	1,064

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

２４年度事業費内訳	
合計	698,740 円
需用費	454,826 円
委託料	243,914 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	幼稚園管理事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	保育・幼児教育の充実

目的	幼稚園の円滑な維持管理を行うため、施設整備の保全に努め、幼稚園児の快適な生活環境を維持する。	主たる内容	光熱水費、修繕料、各種の委託料、土地借上料等、円滑に幼稚園を維持管理する。

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	公立幼稚園	事業期間	～
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼稚園を維持管理した。	光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼稚園を維持管理した。	光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼稚園を維持管理した。	光熱水費、修繕料、各種委託料、土地借上料等を支払い円滑に幼稚園を維持管理する。

成果（できたこと）	円滑に幼稚園を維持管理することができた。
課題（できなかったこと）	遊戯室の冷暖房設備設置による光熱水費、樹木の高木化による剪定委託料、施設・設備の老朽化による修繕料の増加が予想され、幼稚園を管理するための予算の増額が必要である。

指標名称（単位）		実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
指標						
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		37,861	37,985	39,648	48,044
財源	特定財源	37,861	37,985	39,484	48,044
財源	一般財源	0	0	164	0
職員人件費　②		2,899	2,871	2,830	1,695
総事業費（①＋②）		40,760	40,856	42,478	49,739

２４年度事業費内訳	
合計	39,647,562 円
需用費	25,349,909 円
役務費	2,639,792 円
委託料	7,939,941 円
使用料及び賃借料	3,717,920 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

２４年度特定財源名称
幼稚園保育料 行政財産目的外使用料

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	園庭除草事業	担当部	次世代育成部
一般会計	10	4	1		担当課	子ども課
					担当係	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	学校教育
	施策の内容	学校施設・設備の整備・充実
目的	幼稚園の除草作業や側溝清掃作業等により園児や保護者、近隣の住民にとって快適な幼稚園を維持する。	
主たる内容	シルバー人材センターに委託し、幼稚園敷地内の除草作業や側溝清掃作業等を行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	幼稚園児、保護者	
事業期間	平成２１年度　～	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
臨時職員2名雇用 7月～8月（40日） 11月（20日） 5.1.1の科目で実施	臨時職員2名雇用 7月～9月（40日）	シルバー人材センターへ委託 7月～10月（40日）	（幼稚園管理事業へ付替え） ――――――

成果（できたこと）	シルバー人材センターへ委託をし、除草等作業を行うことで保育環境の向上を図ることができた。
課題（できなかったこと）	酷暑による作業員の健康への配慮等、作業に携われる日数が限られているので、計画的な委託方法、作業日数の増加を図る必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	臨時職員雇用延日数又はシルバー人材センター雇用延日数（日）	120	80	80	―	―
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		0	537	486	0
財源	特定財源	0	449	0	0
	一般財源	0	88	486	0
職員人件費　②		0	718	707	0
総事業費（①＋②）		0	1,255	1,193	0
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	２４年度特定財源名称	
	２４年度迄の累積事業費		0		
	２６年度以降の事業費見込		0		

２４年度事業費内訳	
合計	485,502 円
委託料	485,502 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	空調設備整備事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実

目的	主たる内容
各幼稚園の遊戯室に冷暖房設備を整備し、保育環境の向上を図る。 また、預かり保育の利用条件緩和による利用者増に対応する。	各幼稚園の遊戯室に冷暖房設備を整備する

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	幼稚園児、保護者	事業期間	平成２３年度　～　平成２４年度
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
――――	――――	・幼稚園遊戯室空調設備設置工事（全16園）	――――

成果（できたこと）	全幼稚園（16園）の遊戯室に冷暖房設備を整備し、良好な保育環境の改善を図ることができた。
課題（できなかったこと）	今後は保守点検、メンテナンス等を密に行い、設備の長寿命化を図る必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	遊戯室空調機設置工事実績数（園）	―	0	16	―	―
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		0	0	57,758	0
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	0	0	57,758	0
職員人件費　②		0	0	1,061	0
総事業費（①＋②）		0	0	58,819	0

２４年度事業費内訳	
合計	57,758,400 円
委託料	1,974,000 円
工事請負費	55,784,400 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	園舎改修事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実

目的	主たる内容
幼稚園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。	幼稚園の園舎は、昭和40年代前半から順次建築されてきており、この事業は比較的大規模に園舎等を改修する事業である。 老朽化により不便になった園舎や施設等を改修したり、延命化のための予防的な保全を行う。

位置づけ	
関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画
根拠法令	

対象者	幼稚園児、保護者	事業期間	～
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
・刈谷幼稚園他便器洋式化工事 ・日高幼稚園保育室床改修工事 ・平成幼稚園屋根塗装工事 ・双葉幼稚園各所塗装工事	・衣浦幼稚園他3園網戸設置工事 ・双葉幼稚園建具改修工事 ・衣浦幼稚園階段手摺設置工事 ・かりがね幼稚園屋上防水補修 ・小高原幼稚園他1園木床修繕	・双葉幼稚園他3園網戸設置工事	・住吉幼稚園遊戯室棟屋上防水改修工事 ・富士松北幼稚園目地シール打替工事 ・小高原幼稚園他3園網戸設置工事

成果（できたこと）	老朽化による園舎及び施設等を改修したり、予防的に施設を保全したことに伴い、良好な保育環境の改善を図ることができた。
課題（できなかったこと）	園舎及び施設等の大規模な改修を予算計上しているが、施設等の老朽化により、改修箇所は増加してきている。今後は、単年度に経費が集中しないよう、公共施設維持保全計画に基づき、改修計画を策定する必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	網戸設置工事実績数（園）	—	4	4	4	完了
成果指標	屋上防水工事実績数（園）	0	1	—	1	2

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		11,103	10,246	4,305	13,900
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	11,103	10,246	4,305	13,900
職員人件費　②		725	718	707	368
総事業費（①＋②）		11,828	10,964	5,012	14,268

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

２４年度事業費内訳	
合計	4,305,000 円
工事請負費	4,305,000 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	園舎補修事業	担当部	次世代育成部
一般会計	10	4	1		担当課	子ども課
					担当係	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実
目的	幼稚園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図るため、園舎及び施設を補修する。	
主たる内容	老朽化により不便になった園舎や施設等を補修したり延命化のための予防的な修繕を行う。	
位置づけ	関連計画	刈谷市次世育成行動支援計画
	根拠法令	
対象者	幼稚園児、保護者	
事業期間	～	
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
・かりがね幼稚園防火シャッター修繕 ・重原幼稚園テラス手摺等塗装修繕	・双葉幼稚園渡り廊下塗装補修 ・刈谷幼稚園トイレブース修繕 ・衣浦幼稚園舞台装置修繕 ・平成幼稚園屋外便所壁補修	・刈谷幼稚園職員室床壁修繕 ・富士松南幼稚園みどり組外壁クラック等修繕 ・双葉幼稚園保育室床等修繕 ・東刈谷幼稚園テラス雨漏修繕	・井ヶ谷幼稚園休憩室床修繕 ・双葉保育園南棟階段室壁塗装補修 ・富士松南幼稚園廊下床研磨塗装補修

成果（できたこと）	老朽化による園舎及び施設等を改修したり、予防的に施設を保全したことに伴い、良好な保育環境の改善を図ることができた。
課題（できなかったこと）	園舎改修事業ほど大規模ではない園舎や施設等の修繕の計上をしているが、施設等の老朽化により、修繕箇所は増加してきている。単年度に経費が集中しないよう順次修繕計画を立てていく必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	補修箇所数（箇所）	2	5	4	5	5
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		1,302	782	1,557	2,300
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,302	782	1,557	2,300
職員人件費　②		725	718	707	368
総事業費（①＋②）		2,027	1,500	2,264	2,668
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	２４年度特定財源名称	
	２４年度迄の累積事業費		0		
	２６年度以降の事業費見込		0		

２４年度事業費内訳	
合計	1,557,150 円
需用費	1,557,150 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	屋外環境整備事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実

目的	主たる内容
幼稚園の遊具等の安全性向上や施設の延命化を図る。	老朽化により不便になった屋外施設、遊具等を改修したり、延命化のための予防的な保全を行う。

位置づけ	
関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画
根拠法令	

対象者	幼稚園児、保護者	事業期間	～
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
・遊具修繕 ・住吉幼稚園遊具塗装修繕	・遊具修繕 ・セーフティーマット設置	・砂場用川砂購入 ・セーフティーマット設置 ・遊具修繕 ・住吉幼稚園テラス庇設置工事 ・平成幼稚園正門改修工事	・遊具塗装及び修繕 ・井ヶ谷幼稚園ウサギ小屋屋根等修繕 ・小垣江東幼稚園運動場改修工事 ・井ヶ谷幼稚園他1園大型遊具取替工事 ・衣浦幼稚園ブランコ取替工事

成果（できたこと）	遊具点検により指摘をうけた、遊具の危険箇所等を修繕することにより、保育環境の安全性の向上に努めることができた。 また、屋外施設も順次改修したり、予防的に施設を保全したことに伴い、良好な保育環境の改善を図ることができた。
課題（できなかったこと）	遊具の老朽化が多く見られ、特に木製大型総合遊具は点検による指摘が多く、予算を圧迫している。今後、単年度に経費が集中しないよう、順次更新や修繕計画を立て、より安心・安全な施設管理を実施する必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	遊具更新数（基）	0	0	0	3	5
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		1,817	2,201	5,458	12,740
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,817	2,201	5,458	12,740
職員人件費　②		725	718	707	368
総事業費（①＋②）		2,542	2,919	6,165	13,108

２４年度事業費内訳	
合計	5,457,973 円
需用費	2,160,973 円
工事請負費	3,297,000 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	設備等改修事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実
目的	幼稚園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図る。	
主たる内容	老朽化により不便になった設備を改修したり、延命化のための保全を行う。	
位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画
	根拠法令	
対象者	幼稚園児、保護者	
事業期間	～	
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
・小高原幼稚園ガス管改修工事 ・小垣江幼稚園2階給水管　改修工事	・朝日幼稚園浄化槽修繕 ・衣浦幼稚園給水引込管改修工事 ・富士松北幼稚園下水道切替工事 ・監視カメラ設備等更新 ・小高原幼稚園他2園児童用便器洋式化工事 ・小垣江幼稚園ホール天井扇取付工事	・双葉幼稚園給水管引込工事 ・朝日幼稚園他4園児童用便器洋式化工事	・双葉幼稚園2階保育室照明器具取替工事 ・刈谷幼稚園他15園通話対策工事 ・双葉幼稚園防犯カメラ取替工事 ・平成幼稚園他1園防犯カメラ増設工事

成果（できたこと）	老朽化による設備の改修及び予防的に設備を保全したことにより、良好な保育環境の改善を図ることができた。
課題（できなかったこと）	ガス管、給水管、冷暖房設備等の老朽化により、改修箇所は増加している。今後は、単年度に経費が集中しないよう、公共施設維持保全計画に基づき、改修計画を策定する必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	改修箇所数（箇所）	2	7	7	19	10
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		3,081	14,573	5,686	2,300
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	3,081	14,573	5,686	2,300
職員人件費　②		725	718	707	368
総事業費（①＋②）		3,806	15,291	6,393	2,668
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	２４年度特定財源名称	
	２４年度迄の累積事業費		0		
	２６年度以降の事業費見込		0		

２４年度事業費内訳

合計	5,685,750 円
工事請負費	5,685,750 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	設備等補修事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	幼稚園・保育園の整備・充実

目的	主たる内容
幼稚園の良好な保育環境の維持と施設の延命化を図るため、幼稚園設備を修繕する。	老朽化により不便になった設備を補修したり、延命化のための保全を行う。

位置づけ	
関連計画	刈谷市次世代育成行動支援計画
根拠法令	

対象者	幼稚園児、保護者	事業期間	～
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
・消防設備修繕 ・双葉幼稚園ガス供給設備修繕 ・地震対策棚等固定	・双葉幼稚園他10園消防設備修繕 ・重原幼稚園他1園ガス漏れ警報器取替修繕 ・ＡＥＤパッド、バッテリー取替	・ガス漏れ警報器取替 ・消防設備取替修繕 ・住吉幼稚園ランマオペレーター取替修繕	・ガスメーター取替 ・ガス調整器取替 ・ガス漏れ警報器取替 ・消防設備取替修繕 ・防犯センサー修繕

成果（できたこと）	消防設備やガス設備等の設備を修繕することにより、保育環境の安全性の向上を図ることができた。
課題（できなかったこと）	幼稚園施設の設備補修を予算計上しているが、設備の老朽化により修繕箇所は増加している。消火器、ガス調整器など対応年数があるものは期間を考慮して更新していく必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	補修箇所数（箇所）	31	14	7	30	30
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		1,261	855	672	1,931
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,261	855	672	1,931
職員人件費　②		725	718	707	368
総事業費（①＋②）		1,986	1,573	1,379	2,299
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	２４年度特定財源名称	
	２４年度迄の累積事業費		0		
	２６年度以降の事業費見込		0		

２４年度事業費内訳	
合計	672,000 円
需用費	672,000 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	備品等整備事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	幼稚園の消耗品、管理用備品や教材用備品を購入し、教育環境の改善を図る。	
主たる内容	幼稚園の幼児用机等や老朽化した備品等の状況を確認しながら順次更新する。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	幼稚園	
事業期間	～	
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
幼稚園の幼児用机等や老朽化した備品等を更新した。	幼稚園の幼児用机等や老朽化した備品等を更新した。	幼稚園の幼児用机等や老朽化した備品等を更新した。 臨時職員用ヘルメット ラジオライト ポータブルワイヤレスアンプ（4園）	幼稚園の幼児用机等や老朽化した備品等を更新する。 ＡＥＤパットの更新 ポータブルワイヤレスアンプ（4園）

成果（できたこと）	順次老朽化したものを更新したことによって、円滑な保育環境を維持管理することができた。
課題（できなかったこと）	保育ニーズにあった備品や、老朽化した備品の更新などの備品整備が必要である。 また、予算が集中しないよう、計画的に更新していく必要がある。

指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
指標					
指標					

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円	２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①	5,640	6,144	6,205	6,690
財源 特定財源	0	0	0	0
財源 一般財源	5,640	6,144	6,205	6,690
職員人件費　②	1,087	1,077	707	958
総事業費（①＋②）	6,727	7,221	6,912	7,648

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

２４年度 事業費内訳

合計	6,205,389 円
需用費	1,489,349 円
備品購入費	4,716,040 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	図書充実事業	次世代育成部	子ども課	施設係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	幼稚園児を対象とする図書類を充実させ、図書を活用した保育及び保護者への貸出しを通じて園児がより多くの図書と触れ合うことで図書への興味や情操が高まるようにする。	
主たる内容	幼稚園で老朽化した絵本の更新、新刊絵本を購入する。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	幼稚園児	
事業期間	～	
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
老朽化した絵本を更新し、新刊の絵本を購入した。	老朽化した絵本を更新し、新刊の絵本を購入した。	老朽化した絵本を更新し、新刊の絵本を購入した。	老朽化した絵本を更新し、新刊の絵本を購入する。

成果（できたこと）	図書類の購入により、時代に沿った情報を得たり、園児が多くの図書と触れ合うことができた。また、現在幼稚園にある本も補修することによって物を大切に取り扱うことや、本の貸出しによってみんなで共有していること、期日等のルールを守ることを学ぶことができた。
課題（できなかったこと）	日々園児が図書で触れ合うため、劣化が必然となるが、今後も補修できるものは行ったり、新刊絵本の購入を行うことによって、園児の情操が高まるようにしていく必要がある。

指標名称（単位）		実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
指標						
指標						

他市との比較検証：

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		2,156	2,158	2,158	2,160
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	2,156	2,158	2,158	2,160
職員人件費　②		362	359	354	368
総事業費（①＋②）		2,518	2,517	2,512	2,528

２４年度事業費内訳	
合計	2,158,336 円
需用費	2,158,336 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	幼稚園教材研究事業	次世代育成部	子ども課	幼稚園係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	教師の指導技術や教材等を開発研究することによって、幼児に豊かな体験をもたらし、好奇心や探求心の育成に資する。	
主たる内容	教材の開発研究、保育環境の見直し、教師の資質向上に関する研究を行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	幼稚園職員	
事業期間	～	
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
実施事業回数　45回	実施事業回数　39回	実施事業回数　35回	実施事業回数　40回

成果（できたこと）	新しい教材教具の開発や指導技術を高めることができており、具体的な現場での指導により、次の日の保育に生かすことができた。
課題（できなかったこと）	教師の資質向上につながるように、計画的にかつ、内容をよく検討して事業を実施する必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	教材研究事業の回数（回）	45	39	35	40	45
指標						

他市との比較検証：

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		397	398	397	400
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	397	398	397	400
職員人件費　②		725	718	707	737
総事業費（①＋②）		1,122	1,116	1,104	1,137

２４年度事業費内訳	
合計	397,000 円
報償費	397,000 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	ほのぼのルーム設置事業	担当部	次世代育成部
一般会計	10	4	1		担当課	子ども課
					担当係	幼稚園係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	幼稚園が地域の子育て支援センター機能を果たすとともに、就園に対する不安を解消するため、施設及び機能の一部を地域に開放し、小学校入学前の子どもとその保護者を対象に、積極的な子育て支援をする。	
主たる内容	未就園児を含めた親子を対象に支援する。 ・子育て相談活動 ・親子の遊びの紹介 ・未就園児への遊びの提供 ・「ほのぼのだより」等の子育て資料作成 園開設期日：　各園2日/月 相談員等　：　指導員1名	
位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画（後期計画）
	根拠法令	
対象者	小学校入学前の子どもとその保護者	
事業期間	平成１２年度　～	
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
全幼稚園16園で実施 5月から3月までの22回実施 のべ利用者数　5,680人 （1園1回あたり平均利用者数16.1人）	全幼稚園16園で実施 5月から3月までの22回実施 のべ利用者数　5,164人 （1園1回あたり平均利用者数14.7人）	全幼稚園16園で実施 5月から3月までの22回実施 のべ利用者数　5,085人 （1園1回あたり平均利用者数14.4人）	全幼稚園16園で実施 5月から3月までの22回実施 のべ利用者数　5,150人 （1園1回あたり平均利用者数14.6人）

成果（できたこと）	参加者からは、「幼稚園の雰囲気や園児の生活の様子が良くわかった」「母親同士の会話が楽しく、友達もできた」「子育ての情報が得られた」「ふれあい遊びや手遊びを知ることができた」などの声があり、安心して親子共に幼稚園に親しんだり、子育ての相談に応じることが出来た。
課題（できなかったこと）	多くの方に、この事業をさらに活用してもらえるよう、情報提供の方法について工夫をしていく必要がある。

指標名称（単位）		実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	実施回数（回）	352	352	352	352	352
成果指標	利用者数（人）	5,680	5,164	5,085	5,150	5,200

他市との比較検証	未就園児遊びの会（本市では「ほのぼのルーム」）は県内の多くの自治体が実施している。 （全園実施）名古屋市、豊田市、碧南市、西尾市、安城市、新城市、清洲市、知多市、半田市、常滑市 （一部実施）高浜市 市町代表園長会資料より（2012.6月現在）

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		1,256	1,249	1,250	1,269
財源	特定財源	0	0	260	0
	一般財源	1,256	1,249	990	1,269
職員人件費　②		725	718	707	737
総事業費（①＋②）		1,981	1,967	1,957	2,006

２４年度事業費内訳	
合計	1,249,868 円
報償費	1,089,900 円
需用費	159,968 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	子育て支援交付金（国）
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	預かり保育実施事業	次世代育成部	子ども課	幼稚園係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	通常の保育終了後または長期休業時に、預かり保育を希望する保護者の在園児を預かり保育をすることにより、保護者の子育て支援をする。	
主たる内容	出産、就労、傷病及び障害がある親族を看護、介護している保護者や緊急な事情で預かり保育を必要とする者に対して幼稚園で預かり保育をする ・実施日 保育が行われる日並びに長期休中の夏休み冬休み、春休み（3月末日まで）の平日に行う。 但し、お盆・年末年始は除く。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	幼稚園児、保護者	
事業期間	平成１６年度　～	
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
利用人数　1,825人	利用人数　2,804人	利用人数　8,068人	利用人数　9,000人

成果（できたこと）	就労、母親の通院、祖父母の看護、兄弟の予防接種、学校行事やボランティアへの参加など、保育時間終了後、緊急時に支援が必要な保護者のニーズに応えることができた。
課題（できなかったこと）	平成24年度より全園で就労条件を加え、保護者の多様なニーズに応えているが、今後も利用者の増加に伴う対応や保育の在り方について検討する必要がある。

指標名称（単位）		実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	利用条件の緩和（就労を可能とする園）	0	3	16	16	16
成果指標	利用人数（人）	1,825	2,804	8,068	9,000	9,500

他市との比較検証	就労を条件に加えている市・・・豊田市、碧南市、西尾市、高浜市

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		799	800	800	800
財源	特定財源	365	586	800	624
	一般財源	434	214	0	176
職員人件費　②		2,537	2,512	2,476	1,842
総事業費（①＋②）		3,336	3,312	3,276	2,642

２４年度事業費内訳	
合計	799,783 円
需用費	799,783 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	子育て支援交付金（国）等
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	地域に開かれた幼稚園づくり推進事業	次世代育成部	子ども課	幼稚園係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	少子化や子育てを巡る様々な問題に対し、地域の幼児教育のセンター的役割を果たすことによって地域全体の教育の向上に資する。	
主たる内容	保護者に対する教育相談 ・幼児教育に関する各種講座を開催する。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	幼児、保護者、地域の方	
事業期間	～	
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
48講座実施 延べ参加人数　3,985人	46講座実施 延べ参加人数　3,987人	46講座実施 延べ参加人数　4,123人	46講座実施 延べ参加人数　4,150人

成果（できたこと）	地域の実情や子育て家庭を含む保護者のニーズに応え、親子の触れ合い遊びや子育て相談、子育て講座などの内容を十分検討したことにより、幼児をもつ保護者の不安の解消や情報提供につながった。
課題（できなかったこと）	少子化、核家族の増加により、子育ての情報が入りにくいことに対して、幼稚園が幼児教育のセンター的役割をより積極的に果たし、地域社会の教育力向上に努めていく必要がある。

指標名称（単位）		実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	講座回数（回）	48	48	53	50	50
成果指標	延べ人数（人）	3,985	3,987	4,123	4,150	4,200

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		754	864	768	768
財源	特定財源	0	100	0	0
	一般財源	754	764	768	768
職員人件費　②		1,087	718	707	737
総事業費（①＋②）		1,841	1,582	1,475	1,505
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	２４年度特定財源名称	
	２４年度迄の累積事業費		0		
	２６年度以降の事業費見込		0		

２４年度事業費内訳	
合計	767,978 円
報償費	704,000 円
需用費	63,978 円

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	園児観劇事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	福祉安全
基本施策	次世代育成・子育て支援
施策の内容	保育・幼児教育の充実

目的	園児に観劇等を鑑賞させることにより、豊かな感性を培うとともに心豊かな子どもを育てる。	主たる内容	幼稚園児を対象にした人形劇を各幼稚園で上演する。

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	幼稚園児	事業期間	～
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
人形劇公演（刈谷幼稚園始め16園）	人形劇公演（刈谷幼稚園始め16園）	人形劇公演（刈谷幼稚園始め16園）	人形劇公演（刈谷幼稚園始め16園）

成果（できたこと）	専門家による人形劇を観劇することにより、園児の情操を育てることができた。
課題（できなかったこと）	情操教育に活かすことができる新たな魅力を持った内容を検討する必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	実施回数（回）	16	16	16	16	16
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		1,625	1,583	1,565	1,605
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,625	1,583	1,565	1,605
職員人件費　②		725	718	354	368
総事業費（①＋②）		2,350	2,301	1,919	1,973

２４年度事業費内訳	
合計	1,564,500 円
委託料	1,564,500 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	保育カウンセラー事業	次世代育成部	子ども課	幼稚園係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	臨床心理士が、保育カウンセラーとして保護者等の子育てに関する相談について、専門的な立場から指導を行い、育児不安を解消したり、教諭の保育指導に活かし育児支援を行う。	
主たる内容	臨床心理士の巡回指導を各幼稚園で年5回開催し、発達障害や子どもの育児に悩む保護者や教諭等の相談に対応する。	
位置づけ	関連計画	刈谷市次世代育成支援行動計画
	根拠法令	次世代育成対策推進法
対象者	保護者　幼稚園教諭	
事業期間	平成１９年度　～	
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
・訪問回数　68回 ・相談件数　228件	・訪問回数　68回 ・相談件数　212回	・訪問回数　80回 ・相談件数　211件	・訪問回数　80回 ・相談件数　215件

成果（できたこと）	年間1園あたり5回になったことで、相談件数が増えたり、1事例について、ゆっくりと充実した検討会になった。また、継続的に指導を受けているので、保育指導の改善に結びついた。
課題（できなかったこと）	子育てに手がかかる子どもの対応に専門的な見地から相談に応じてもらえ、保護者から喜ばれている。幼稚園での具体的な場面での対応の指導は、非常に効果が上がっているが、相談したい対象園児の増加により、十分な時間がない状況である。

指標名称（単位）		実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	年間訪問回数（回）	68	68	80	80	96
成果指標	相談件数（件）	228	212	211	215	260

他市との比較検証	近隣市においても、臨床心理士等に指導を仰ぎ実施しているが、回数や時間数はばらつきがある。今後もより一層の充実を図る必要がある。

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		1,892	1,892	2,200	2,200
財源	特定財源	0	113	387	0
	一般財源	1,892	1,779	1,813	2,200
職員人件費　②		1,450	1,436	1,415	1,474
総事業費（①＋②）		3,342	3,328	3,615	3,674

２４年度事業費内訳	
合計	2,200,000 円
報償費	2,200,000 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	子育て支援交付金（国）
２６年度以降の事業費見込	0	

平成２５年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	款	項	目	事業名	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	4	1	幼稚園スポーツ教室開催事業	次世代育成部	子ども課	管理係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	福祉安全
	基本施策	次世代育成・子育て支援
	施策の内容	保育・幼児教育の充実
目的	専門家のの訪問指導により、ルールを守ることの大切さと、体を動かす楽しさを体験する。	
主たる内容	サッカー教室 ・5歳児対象 ・1時間程度 ・ボールを使った遊び、ゲーム等	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	幼稚園児	
事業期間	平成２０年度　～	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２２年度実績	２３年度実績	２４年度実績	２５年度計画
サッカー教室開催 （刈谷幼稚園始め16園）	サッカー教室開催 （刈谷幼稚園始め16園）	サッカー教室開催 （刈谷幼稚園始め16園）	サッカー教室開催 （刈谷幼稚園始め16園）

成果（できたこと）	園児が楽しめるメニューにより、体を動かす楽しさを体験することができた。
課題（できなかったこと）	事業の効果をさらに大きくするため、対象の拡大や回数増を検討する。

	指標名称（単位）	実績値 ２２年度	２３年度	２４年度	目標値 ２５年度	２７年度
活動指標	サッカー教室開催数（回）	16	16	16	16	32
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２２年度（決算）	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（予算）
事業費　①		800	800	800	800
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	800	800	800	800
職員人件費　②		362	718	707	737
総事業費（①＋②）		1,162	1,518	1,507	1,537

２４年度事業費内訳	
合計	800,000 円
委託料	800,000 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２４年度特定財源名称
２４年度迄の累積事業費	0	
２６年度以降の事業費見込	0	